

組立の前に必ずお読みください

アウトドアダブルロールスクリーン

製品組立 取扱説明書

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。人体および財産への危害や損害を未然に防ぐため、本書をよくお読み頂き、内容をご理解された上で正しくご使用ください。

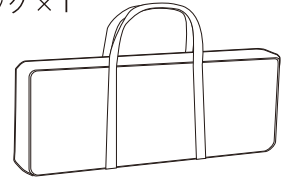
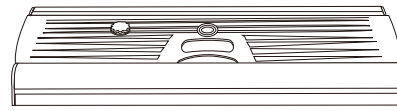
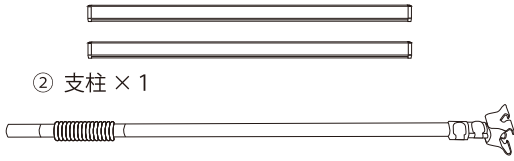
パーツリスト 組立前に内容物をご確認ください。

① 上部バー × 1

③ 本体 (注水タンク付き) × 1

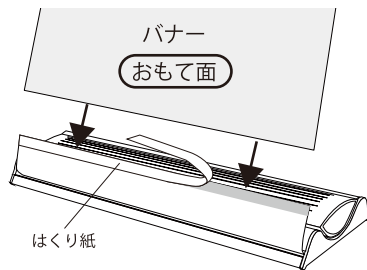
④ 収納バッグ × 1

② 支柱 × 1



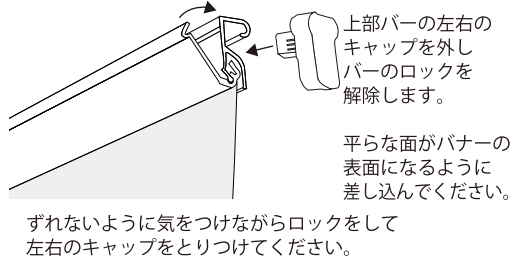
バーナーセット方法

1 本体にバーナーをセットします



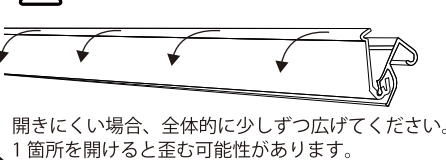
バーナーのウラ面を図のように本体のシートの両面テープ部分に貼ります。バーナーの向きにご注意ください。はくり紙を少しずつ剥がしながらバーナーを貼るとスムーズに貼り付けができます。

2 上部バーにバーナーをセットします



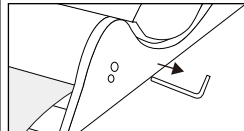
平らな面がバーナーの表面になるように差し込んでください。ずれないように気をつけながらロックをして左右のキャップをとりつけてください。

上部バー開き方の注意



開きにくい場合、全体的に少しずつ広げてください。1箇所を開けると歪む可能性があります。

3 ロックピンを抜き、バーナーを収納します



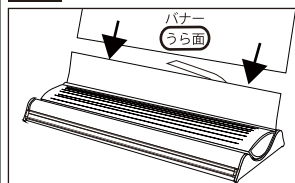
本体側面にあるロックピンを引き抜きバーナーを本体へ収納してください。ロックピンを引き抜くと勢いよくバーナーが巻きこまれますのでしっかり抑えながらゆっくり収納してください。



バーナーをセットするまで本体にあるピンは絶対に抜かないでください

バーナーを取り付ける前にピンを引き抜くと、誘導シートが本体の中に巻き込まれ、取付けができなくなるのでご注意ください。

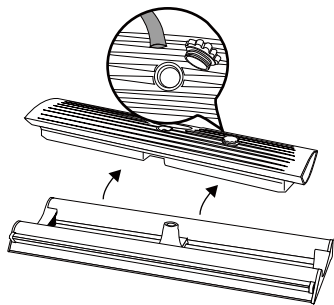
4 反対側のバーナーもセットします



①～③まで同様の手順で反対側にもおこなってください。

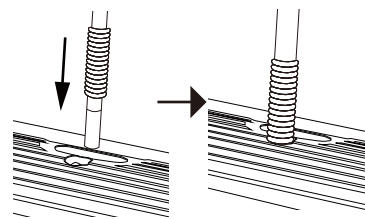
組立方法

1 注水タンクに水を入れる



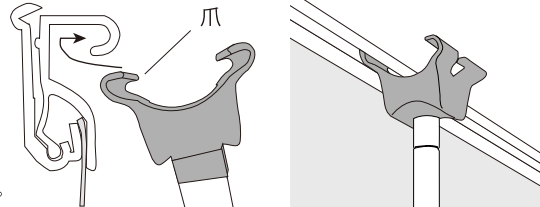
本体からタンクを取り外し水を入れます。水を入れたらタンクを本体に戻します。

2 支柱を本体中央に差し込みます

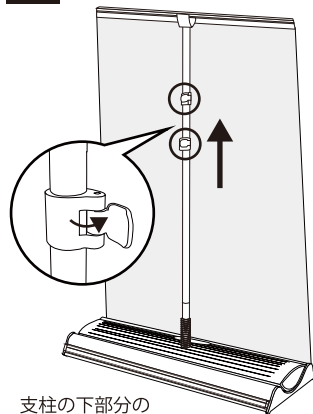


3 上部バーを支柱にとりつけます

バーナーをセットした上部バーを引っぱり出して背面側にある溝を支柱上部の爪にしっかり、はめ込みます。

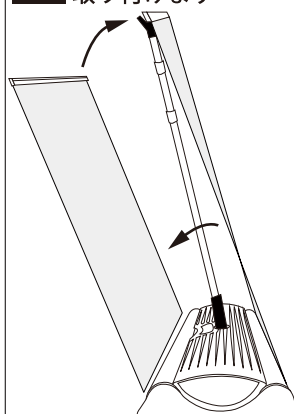


4 支柱の高さを調節します



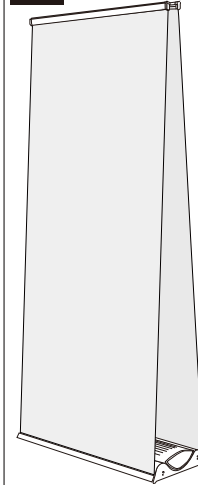
支柱の下部分のロックレバーを引き出しロックを解除して高さを調節してください。上部も同様にロックを解除し高さを調節してください。

5 反対側のメディアを取り付けます



支柱を取付け側に傾け、バーナーを引き出し③と同様に、先端にとりつけます。

6 完成



バーナー製作及び 取扱い注意事項

幅 850mm × 高さ 990 ~ 2070mm

本製品に入る部分までデザイン (塗り足し)

上部 10mm 下部 60mm が必要です

バーナーの高さは本製品の内部に入る部分 (上部 10mm、下部 60mm) を含み、990 ~ 2000mmです。設置の際に見える部分の高さは920 ~ 2000mmです。※同じサイズのバーナーを2枚をご用意ください。

推奨バーナー素材
ターボリン・合成紙 (ユボ) 0.15 ~ 0.35mm厚

製品使用上のお読みとご注意

この説明書は製品を安全に正しく使用していただくための注意事項を記載しています。記載されている注意事項が守られていない場合、事故などが発生する原因となりますので、必ず厳守してください。また、次のような場合に発生した事故などにつきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。人災・天災・地震などの不可抗力による事故、また、什器は屋内での使用を前提としておりますので、風雨にさらされる場所での使用は避けください。発錆により、機能や性能が著しく低下することがあります。この取扱説明書は、必要なときに、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。※この取扱説明書の内容は製品改良のため予告なく変更する場合があります。

本製品ご使用時の注意事項

●組立ては2名以上で行なって下さい。作業スペースを十分に確保し、床の養生を行った後、安全に組み立ててください。●組立て時は切傷・打撲を防ぐために軍手を着用して下さい。●什器は必ず平坦な床面に設置してください。傾斜及び凹凸の激しい場所での使用は転倒によって人が怪我をする恐れがありますので絶対にお避けください。●冷気の吹出口や雨・直射日光の当たる場所での使用はお避けください。発錆、ひいては部品の劣化による破損の原因となります。●商品の汚れはシンナーや薬品を使用せず、よく絞った雑巾でふき取ってください。発錆による破損の原因となります。